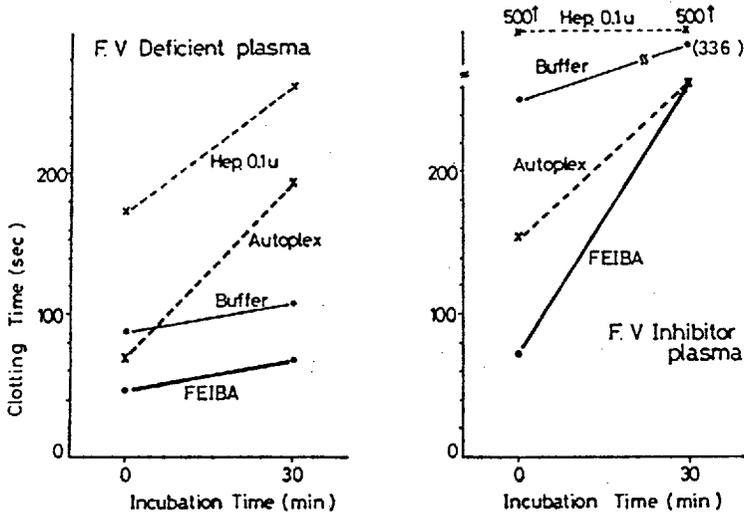


図 1

Inactivation of Correcting Activities of FEIBA and Autoplex during Incubation with F.V Deficient Plasma or F.V Inhibitor Plasma



血友病の家庭注射療法の成績 (続)  
血友病包括医療の運営の試み

聖マリアンナ医科大学小児科 山田 兼雄

われわれは血友病の家庭注射を厚生省の研究班の方針にもとづきすでに5年以上の研究的経験を続けてきた。その例数は47例に及びわれわれが管理している血友病患者総数の180例の25%以上となる。これまでに特記すべき事故は全くみられず、血友病患者ならびにその家族のこの治療法に対する満足は筆舌につくし難い。今回はとくに本治療法における注射手技者ならびにその変遷および予防投与の実態について調査した。さらに家庭注射を基礎とした血友病の包括医療の運営の試みについての研究をおこなった。

成績1) 手技者の調査: 45例中母親が27例で幼稚園児, 学童の場合が24例, 中学, 高校生が3例であった。大学生その他の成人においては両親が施行しているものは1例もなかった。父親は1例の

みで前回の調査では2例であったが、父親より母親に手技者が変わったのが1例認められたためであった。本人は計9例で、8例が大学生またはその他の成人で高校生が1例で自分で注射をしていた。兄が弟に施行しているものが1例であった。近医に依頼しているものが計9例でそのうち7例が幼稚園または学童であった。近医によって注射をうけているものは厳密な意味で家庭注射とはいえないかもしれない。

- 2) 予防的投与：出血がみられなくても週2～3回家庭注射を行っているものは19例のうち18例が幼稚園児または学童であった。前回の調査成績にくらべて予防的投与の数が増加している。
- 3) 血友病の包括医療の運営の試み：血液専門家、内科医、小児科医を中心としてこれに各種の専門分野の協力体制のもとに血友病の包括医療 (comprehensive care of hemophilia) を運営することを試みた。協力者には、整形外科医、physical therapist、ソーシャルワーカー、精神科医、心理学者、児童心理学者、看護婦などであり、現在その体制が軌道にのりつつあり、その成果は来年度報告する。

表

	Mother	Father	Self	Other family member	Some physician
A. primary school and kindergarten	24	1	0	0	5
B. junior and senior high school	3	0	1	0	1
C. college students and adults	0	0	8	1	1



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



われわれは血友病の家庭注射を厚生省の研究班の方針にもとづきすでに5年以上の研究的経験を続けてきた。その例数は47例に及びわれわれが管理している血友病患者総数の180例の25%以上となる。これまでに特記すべき事故は全くみられず、血友病患者ならびにその家族のこの治療法に対する満足は筆舌につくし難い。今回はとくに本治療法における注射手技者ならびにその変遷および予防投与の実態について調査した。さらに家庭注射を基礎とした血友病の包括医療の運営の試みについての研究をおこなった。